

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 01 雇用の創出と雇用環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
労働者 企業	雇用が創出されるとともに、労働者の福利厚生が充実しています。

施策の成果状況と評価

指標①	有効求人倍率（年平均）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	倍	1.07	1.06	1.17	➔
評価	(状況) 有効求人倍率（年平均）は1.17倍で、前年度と比較すると0.11ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると0.1ポイント増加しています。 (原因) 2022（R4）年度は、新型コロナウイルス感染症による行動制限等が緩和され、経済活動が徐々に回復したことに伴い、企業の求人数が回復傾向にあることが要因と考えます。					目標 達成度	☀ (高)

指標②	雇用保険受給者実人数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	人	5,537	5,379	4,991	➔
評価	(状況) 雇用保険受給者実人数は4,991人で、前年度と比較すると388人減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると546人減少しており、目標値を達成しています。 (原因) 2022（R4）年度は、新型コロナウイルス感染症による行動制限等が緩和され、経済活動が徐々に回復したことに伴い、事業所からの離職者が抑えられたことが要因と考えます。					目標 達成度	☀ (達成)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 企業誘致の推進
基本事項 02 雇用の確保
基本事項 03 労働者福利厚生の実施

基本事項01 企業誘致の推進

指標①	市内立地企業数（累計）（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	社	3	9	9	9	---
評価	基準値は、平成25年度からの累計企業数です。 （状況）市内立地企業数（県工業開発条例に基づき市内に新設された工場数）は前年度と同様であり、総合計画基準値（H28）と比較すると6社増加しています。 （原因）2022（R4）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の景況が不安定であったことから、新たな企業の進出がなかったと考えます。						目標達成度
							---

基本事項01 企業誘致の推進

指標②	市内立地企業による雇用数（累計）（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	人	38	221	221	114	---
評価	基準値は、平成25年度からの累計雇用数です。 （状況）市内立地企業による雇用数（県工業開発条例に基づき新設された工場の設置に伴う雇用数）は、前年度と同数であり、総合計画基準値（H28）と比較すると183人増加しています。 （原因）2022（R4）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響と物価高騰の影響により、企業の景況が不安定であったことから、立地企業による雇用が創出されなかったと考えます。						目標達成度
							---

基本事項02 雇用の確保

指標①	市主催就職支援事業による就職者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	人	33	1	14	37	☔ (低下)
評価	（状況）市主催就職支援事業による就職者数は14人で、前年度と比較すると13人増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると19人減少しています。 （原因）2022（R4）年度は、新型コロナウイルス感染症による行動制限等が緩和され、経済活動が徐々に回復したことに伴い、企業の採用意欲が増加したことが要因と考えます。						目標達成度
							■ (低)

基本事項02 雇用の確保

指標②	ハローワーク須賀川における就職率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	%	40.1	35.0	35.7	➔	☔ (低下)
評価	（状況）ハローワーク須賀川における就職率は35.7%で、前年度と比較すると0.7ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると4.4ポイント減少しています。 （原因）新型コロナウイルス感染症による行動制限等が緩和され、経済活動が徐々に回復したことに伴い、企業の求人数は回復傾向にあるものの、企業側の求人と求職者が希望する業種の違いによる雇用のミスマッチが要因と考えます。						目標達成度
							■ (低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 企業誘致の推進
基本事項 02 雇用の確保
基本事項 03 労働者福利厚生の実施

基本事項03 労働者福利厚生の実施

指標①	勤労者互助会の加入者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき															
	【商工課】	人	221	195	188	250	 (低下) 目標達成度  (低)															
評価	(状況) 勤労者互助会の加入者数は188人で、前年度と比較すると7人減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると33人減少しています。 (原因) 会員の高齢化や離職による脱退が、新規加入を上回ったことが要因と考えます。	<p>(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>加入者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>221</td></tr> <tr><td>H29</td><td>228</td></tr> <tr><td>H30</td><td>200</td></tr> <tr><td>R01</td><td>205</td></tr> <tr><td>R02</td><td>195</td></tr> <tr><td>R03</td><td>188</td></tr> <tr><td>R04</td><td>188</td></tr> </tbody> </table>						年度	加入者数 (人)	H28	221	H29	228	H30	200	R01	205	R02	195	R03	188	R04
年度	加入者数 (人)																					
H28	221																					
H29	228																					
H30	200																					
R01	205																					
R02	195																					
R03	188																					
R04	188																					

基本事項03 労働者福利厚生の実施

指標②	勤労者福利厚生施設利用者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき															
	【商工課】	人	14,594	9,759	16,023	19,000	 (向上) 目標達成度  (低)															
評価	(状況) 勤労者福利厚生施設利用者数は16,023人で、前年度と比較すると6,264人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると1,429人増加しています。 (原因) 2022 (R4) 年度は、貸館利用制限が緩和されたことに加え、産業会館の廃止に伴い、税務署の確定申告相談が労働福祉会館で実施されたことで、利用者数の総数が増加したものと考えます。	<p>(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>14,594</td></tr> <tr><td>H29</td><td>12,500</td></tr> <tr><td>H30</td><td>13,000</td></tr> <tr><td>R01</td><td>13,500</td></tr> <tr><td>R02</td><td>4,500</td></tr> <tr><td>R03</td><td>10,000</td></tr> <tr><td>R04</td><td>16,023</td></tr> </tbody> </table>						年度	利用者数 (人)	H28	14,594	H29	12,500	H30	13,000	R01	13,500	R02	4,500	R03	10,000	R04
年度	利用者数 (人)																					
H28	14,594																					
H29	12,500																					
H30	13,000																					
R01	13,500																					
R02	4,500																					
R03	10,000																					
R04	16,023																					

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 02 農林業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
農業者	農業経営の効率化により、農業所得の安定・向上が図られています。

施策の成果状況と評価

指標①	1戸当たりの農業所得	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【農政課】	千円	563	384	90	→
評価	<p>(状況) 1戸当たりの農業所得は9万円で、前年度と比較すると29万4,000円減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると47万3,000円減少しています。</p> <p>(原因) 本市の農業経営体は、2020年農業センサスによると、販売農家約2,500戸のうち、水稻を中心とする経営体が2,200戸 (全体の約9割) と大半を占めるため、米の価格や収穫量が農業所得へ大きな影響を及ぼします。2022 (R4) 年度については、新型コロナウイルス感染症の影響による米消費の落ち込みなどを要因とした米価の低迷に加え、ロシアによるウクライナ侵攻などの国際情勢の変化に伴う、肥料や燃料等の経費の高騰により、農業所得が低下したものと考えられます。</p>	<p>(千円)</p>					目標達成度

指標②	農産物の売上高 (JA)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【農政課】	百万円	4,453	4,623	4,365	→
評価	<p>(状況) 農産物の売上高 (JA) は43億6,500万円で、前年度と比較すると、2億5,800万円減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると8,800万円減少しています。</p> <p>(原因) 2022 (R4) 年度は、園芸品目は降ひょうなどの自然災害の被害を受けましたが、その後の好天により生産量が回復し売上高は増加したものの、米穀の売上高が減少していることが要因と考えられます。</p>	<p>(百万円)</p>					目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 多様な担い手の育成・確保
基本事項 02 農林業生産環境の整備・保全
基本事項 03 農業経営の安定確保
基本事項 04 特産農産物の生産振興
基本事項 05 特産農産物の販売促進

基本事項01 多様な担い手の育成・確保

指標①	認定農業者率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	%	7.4	6.8	6.8	9.3	☔ (低下)
評価	基準値は、2015 (H27) 年に取得した数値です。						目標達成度
	<p>(状況) 認定農業者率は6.8%で、前年度と同率であり、総合計画基準値 (H27) と比較すると0.6ポイント減少しています。</p> <p>(原因) 国・県の各種施策は、認定農業者を対象要件とする方向に転換してきており、経営の規模拡大等を目指す意欲ある農業者は、認定を受け農業所得の向上を目指しています。一方で、高齢化や後継者の不足により、経営規模の維持・縮小を考えている農業者が多くなってきていることが、認定農業者率の低下につながっていると考えられます。</p>						■ (低)

基本事項01 多様な担い手の育成・確保

指標②	担い手への農地利用集積面積 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	ha	1,865.0	3,417.6	3,493.6	2,200.0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 担い手への農地利用集積面積 (累計) は3,493.6haで、前年度と比較すると76ha増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると1,628.6ha増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 規模縮小や離農する農家から経営規模の大きい個人、団体への集積が進んできていると考えられます。</p>						目標達成度

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標①	耕作放棄地面積 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	ha	482	473	453	458	---
評価	<p>(状況) 耕作放棄地面積 (累計) は453haで、前年度と比較すると20ha減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると29ha減少しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 2020 (R2) 年度までは農林業センサス (農家の申告による主観ベース) の数値を使用していましたが、農林業センサスでの集計が終了したため、2021 (R3) 年度からは農業委員会が把握している数値で集計しているため、基準値、目標値等との単純比較はできません。</p> <p>農地の集積や農地転用による非農地化が進んだことなどにより、前年度と比較し減少したものと考えられます。</p>						目標達成度

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標②	基盤 (ほ場) 整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	%	48.9	50.5	50.7	50.3	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 基盤 (ほ場) 整備率は50.7%で、前年度と比較すると0.2ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.8ポイント増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 県営土地改良事業を行っている「森宿地区」の整備が順調に進んでいるためです。</p>						目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な担い手の育成・確保
基本事項 02	農林業生産環境の整備・保全
基本事項 03	農業経営の安定確保
基本事項 04	特産農産物の生産振興
基本事項 05	特産農産物の販売促進

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標③	農村環境保全取組面積率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	%	40.4	45.8	44.5	43.7	(向上)
評価	(状況) 多面的機能支払交付金事業により取り組んでいる、農村環境保全取組面積率は44.5%で、前年度と比較すると1.3ポイント減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると4.1ポイント増加し、目標値を達成しています。 (原因) 活動組織数は、2016 (H28) 年度の39組織から41組織に増加していますが、前年度から1組織が加わり、3組織が取りやめたため、前年度からは2組織減少しています。						目標達成度
							(達成)

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標④	各種補助により生産施設等を整備した件数 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	件	18	71	75	38	(向上)
評価	(状況) 各種補助による生産施設等を整備した件数 (累計) は75件で、前年度と比較すると4件増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると57件増加し、目標値を達成しています。 (原因) 県補助事業を活用し、イチゴハウス栽培用病害虫抑制用UV-Bランプの導入などが3件、農業用機械などの生産施設が1件導入され、高品質かつ安定的な生産を目指す生産者が増加していることが要因と考えられます。						目標達成度
							(達成)

基本事項03 農業経営の安定確保

指標①	水田フル活用推進助成金の交付対象者数 (延べ人数)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	人	562	442	523	620	(低下)
評価	(状況) 水田フル活用推進助成金の交付対象者数 (延べ人数) は523人で、前年度と比較すると81人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると39人減少しています。 (原因) 前年度と比較し飼料用米等への転作が進んだことによるものと考えられます。一方、2018 (H30) 年度から米の生産数量調整目標値が廃止されたことなどにより、基準値と比較して減少したのものと考えられます。なお、対象者あたりの取組面積は増加しています。						目標達成度
							(低)

基本事項03 農業経営の安定確保

指標②	収入減少対策に加入している農家数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	人	274	280	301	300	(向上)
評価	(状況) 収入減少対策に加入している農家数は301人で、前年度と比較すると21人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると27人増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 近年頻発している台風や霜、ひょうなどの自然災害に対する農家の危機意識の変化や、前年度から実施している市独自の収入保険加入対策の効果が表れていると考えられます。						目標達成度
							(達成)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な担い手の育成・確保
基本事項 02	農林業生産環境の整備・保全
基本事項 03	農業経営の安定確保
基本事項 04	特産農産物の生産振興
基本事項 05	特産農産物の販売促進

基本事項03 農業経営の安定確保

指標③	キュウリ、ナスの病害虫防除面積（市補助事業による防除面積）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	ha	27.4	49.3	45.3	30.0	
評価	(状況) キュウリ、ナスの病害虫防除面積（市補助事業による防除面積）は45.3haで、前年度と比較すると4ha減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると17.9ha増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 農業の担い手不足の影響から、経営規模の縮小や生産農家が減少している傾向があるため、2022（R4）年度においては、面積が減少したものと考えられます。						(向上) 目標達成度 (達成)

基本事項04 特産農産物の生産振興

指標①	代表的な産地指定農産物キュウリのJA出荷量	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	t	5,380	5,099	4,239	→	
評価	(状況) 代表的な産地指定農産物キュウリのJA出荷量は4,239tで、前年度と比較すると860t減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると1,141t減少しています。 (原因) 2022（R4）年度は降ひょうによる農業災害が発生したことや、担い手不足による農家数の減少が要因と考えられます。						(低下) 目標達成度 (低)

基本事項04 特産農産物の生産振興

指標②	代表的な特産農産物日本ナシのJA出荷量	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	t	1,200	580	918	→	
評価	(状況) 代表的な特産農産物日本ナシのJA出荷量は918tで、前年度と比較すると338t増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると282t減少しています。 (原因) 高齢化や担い手不足により樹園地が減少傾向にあります。また、2020（R2）年度及び2021（R3）年度は、病虫害や凍霜害により生産量が大幅に減少しましたが、前年度は、降ひょうによる農業災害が発生したものの、その後の天候が良好であったため、生産量が回復したものと考えられます。						(低下) 目標達成度 (低)

基本事項05 特産農産物の販売促進

指標①	代表的な産地指定農産物キュウリのJA販売額	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	百万円	1,563	1,433	1,692	→	
評価	(状況) 代表的な産地指定農産物キュウリのJA販売額は16億9,200万円で、前年度と比較すると2億5,900万円増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると1億2,900万円増加しています。 (原因) 2022（R4）年度は、降ひょうなどの農業災害が発生し、生産量が減少したものの、全国的な出荷状況により販売単価が上昇したことが要因と考えられます。						(向上) 目標達成度 (高)

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 多様な担い手の育成・確保
- 基本事項 02 農林業生産環境の整備・保全
- 基本事項 03 農業経営の安定確保
- 基本事項 04 特産農産物の生産振興
- 基本事項 05 特産農産物の販売促進

基本事項05 特産農産物の販売促進

	代表的な特産農産物日本ナシのJA販売額	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標の うごき																								
指標②	【農政課】	百万円	282	207	306	➔	(横ばい)																								
評価	<p>(状況) 代表的な特産農産物日本ナシのJA販売額は3億600万円で、前年度と比較すると9,900万円増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると2,400万円増加しています。</p> <p>(原因) 前年度は、凍霜害により生産量が大幅に減少した一方、2022(R4)年度は降ひょうによる農業災害が発生したものの、その後の天候が良好で生産量が伸び、販売額が増加したのと考えられます。</p>	<p>(百万円)</p> <table border="1" style="display: none;"> <caption>販売額推移 (百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>282</td><td>282</td></tr> <tr><td>H29</td><td>290</td><td>290</td></tr> <tr><td>H30</td><td>295</td><td>295</td></tr> <tr><td>R01</td><td>285</td><td>300</td></tr> <tr><td>R02</td><td>320</td><td>310</td></tr> <tr><td>R03</td><td>207</td><td>320</td></tr> <tr><td>R04</td><td>306</td><td>360</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値	目標値	H28	282	282	H29	290	290	H30	295	295	R01	285	300	R02	320	310	R03	207	320	R04	306	360	<p>目 標 達成度</p> <p style="text-align: center;">■■■ (中)</p>
年度	実績値	目標値																													
H28	282	282																													
H29	290	290																													
H30	295	295																													
R01	285	300																													
R02	320	310																													
R03	207	320																													
R04	306	360																													



政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 03 商工業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内商工業事業所	市内商工業の振興が図られています。

施策の成果状況と評価

指標①	経営状況が良いと感じている事業所の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	%	18.1	17.7	11.7	➔	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 労働条件等実態調査結果において、経営状況が良いと感じている事業所の割合は11.7%で、前年度と比較すると6.0ポイント減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると6.4ポイント減少しています。</p> <p>(原因) ロシアのウクライナ軍事侵攻などの国際情勢の変化に伴う、原油・物価高騰等の影響によるものと考えられます。</p>						目標達成度 ■■■ (低)

指標②	収益が増加した事業所の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	%	18.9	20.1	14.4	➔	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 労働条件等実態調査結果において、収益が増加した事業所の割合は14.4%で、前年度と比較すると5.7ポイント減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると4.5ポイント減少しています。</p> <p>(原因) ロシアのウクライナ軍事侵攻などの国際情勢の変化に伴う、原油・物価高騰等の影響により、収益が増加しなかったものと考えられます。</p>						目標達成度 ■■■ (低)

指標③	雇用調整を実施した事業所の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	%	6.2	17.2	13.0	➔	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 労働条件等実態調査結果において、雇用調整を実施した事業所の割合は13.0%で、前年度と比較すると4.2ポイント減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると6.8ポイント増加しています。</p> <p>(原因) ロシアのウクライナ軍事侵攻などの国際情勢の変化に伴う、原油・物価高騰等の影響により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業所が、人員削減や労働時間の短縮などを行ったことが要因と考えます。</p>						目標達成度 ■■■ (低)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 商業の振興
基本事項 02 工業の振興
基本事項 03 中心市街地の活性化

基本事項01 商業の振興

指標①	市内卸売・小売業年間売上高	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	百万円	131,450	-	131,570	➔	
評価	基準値は、2014 (H26) 年に取得した数値です。						☁️ (横ばい)
	<p>(状況) 2021 (R3) 年経済センサス活動調査において、市内卸売・小売業年間売上高は、1,315億7,000万円で、総合計画基準値 (H26) と比較すると1億2,000万円増加しています。</p> <p>(原因) 2014 (H26) 年と比べ、卸売・小売業の事業者数が増えたことが要因と考えます</p> <p>※2021 (R3) 年経済センサス活動調査の実績値の公表が2022 (R4) 年度末であったことから、2022 (R4) 年度実績値欄に記載していません。</p>						<p>目 標 達成度</p> <p>■ ■ ■ (低)</p>

基本事項01 商業の振興

指標②	市内卸売・小売業事業所数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	店	623	-	656	➔	
評価	基準値は、2014 (H26) 年に取得した数値です。						☀️ (向上)
	<p>(状況) 2021 (R3) 年経済センサス活動調査において、市内卸売・小売業事業所数は656店で、総合計画基準値 (H26) と比較すると33店増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 2014 (H26) 年と比べ、卸売・小売業を創業する事業者が増えたことが要因と考えます。</p> <p>※2021 (R3) 年経済センサス活動調査の実績値の公表が2022 (R4) 年度末であったことから、2022 (R4) 年度実績値欄に記載していません。</p>						<p>目 標 達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>

基本事項01 商業の振興

指標③	市内卸売・小売業事業所従業員数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	人	4,355	-	4,715	➔	
評価	基準値は、2014 (H26) 年に取得した数値です。						☀️ (向上)
	<p>(状況) 2021 (R3) 年経済センサス活動調査において、市内卸売・小売業事業所従業員数は4,715人で、総合計画基準値 (H26) と比較すると360人増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 2014 (H26) 年と比べ卸売・小売業の事業者数が増えたことが要因と考えます。</p> <p>※2021 (R3) 年経済センサス活動調査の実績値の公表が2022 (R4) 年度末であったことから、2022 (R4) 年度実績値欄に記載していません。</p>						<p>目 標 達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>

基本事項02 工業の振興

指標①	市内製造品出荷額等	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	百万円	172,527	159,833	173,120	➔	
評価	基準値は、2014 (H26) 年に取得した数値です。						☁️ (横ばい)
	<p>(状況) 経済構造実態調査 (旧工業統計調査) において、市内製造品出荷額等は1,731億2,000万円で、前年度と比較すると132億8,700万円増加し、総合計画基準値 (H26) と比較すると5億9,300万円増加しています。</p> <p>(原因) 2022 (R4) 年度は、新型コロナウイルス感染症による行動制限等が緩和され、経済活動が徐々に回復したことに伴い、企業の製造品出荷額等は増加傾向にあるものの、ロシアのウクライナ軍事侵攻などの国際情勢の変化に伴う、原油・物価高騰等の影響があったためと考えられます。</p>						<p>目 標 達成度</p> <p>■ ■ ■ (低)</p>

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 商業の振興
基本事項 02 工業の振興
基本事項 03 中心市街地の活性化

基本事項02 工業の振興

指標②	市内工業事業所数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	社	172	147	151	→	☔ (低下)
評価	基準値は、2014 (H26) 年に取得した数値です。						目標達成度
	<p>(状況) 経済構造実態調査 (旧工業統計調査) において、市内工業事業所数は151社で、前年度と比較すると4社増加し、総合計画基準値 (H26) と比較すると21社減少しています。</p> <p>(原因) 2022 (R4) 年度は、新型コロナウイルス感染症による行動制限等が緩和され、経済活動が徐々に回復したことに伴い、事業所数は前年度と比較し増加したものの、ロシアのウクライナ軍事侵攻などの国際情勢の変化に伴う、原油・物価高騰等の影響があったためと考えられます。</p>						■ (低)

基本事項02 工業の振興

指標③	市内工業事業所従業員数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	人	6,964	6,724	6,913	→	☁ (横ばい)
評価	基準値は、2014 (H26) 年に取得した数値です。						目標達成度
	<p>(状況) 経済構造実態調査 (旧工業統計調査) において、市内工業事業所従業員数は6,913人で、前年度と比較すると189人増加し、総合計画基準値 (H26) と比較すると51人減少しています。</p> <p>(原因) 2022 (R4) 年度は、新型コロナウイルス感染症による行動制限等が緩和され、経済活動が徐々に回復したことに伴い、企業の採用意欲は増加傾向にあるものの、ロシアのウクライナ軍事侵攻などの国際情勢の変化に伴う、原油・物価高騰等の影響があったためと考えられます。</p>						■ (低)

基本事項03 中心市街地の活性化

指標①	市内中心部における平日歩行者通行量	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	人/日	2,026	2,319	2,773	2,700	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 市内中心部における平日歩行者通行量は2,773人で、前年度と比較すると454人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると747人増加しており、目標値を達成しています。なお、休日歩行者通行量は前年度と比較すると9人減の3,862人で、中心市街地活性化基本計画基準値 (H30) と比較すると1,902人増加しています。</p> <p>(原因) 市庁舎の開庁や市民交流センター、風流のはじめ館の開館などにより、中心市街地への来街者数が増加したものと考えます。</p>						目標達成度
						☰ (達成)	

基本事項03 中心市街地の活性化

指標②	商店会等加盟店舗数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	店舗	161	151	154	165	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 商店会等加盟店舗数は154店舗で、前年度と比較すると3店舗増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると7店舗減少しています。</p> <p>(原因) 高齢化による後継者問題等により、休業する店舗があるためです。</p>						目標達成度
						■ (低)	

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 04 観光振興と交流促進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
須賀川市に訪れる人	須賀川市を訪れ滞在する人が増加します。

施策の成果状況と評価

指標①	平日14時に本市に滞在していた人数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【観光交流課】	人	56,786	54,816	54,546	58,500	
評価	<p>(状況) 国の地域経済分析システム (RESAS) において、県外からの来訪者 (4月～6月の累計人数) は、上位順に宮城県812人 (R3:679人⇒133人増)、東京都670人 (R3:506人⇒164人増)、埼玉県481人 (R3:350人⇒131人増)、神奈川県481人 (R3:312人⇒169人増)、栃木県472人 (R3:465人⇒7人増) と増加していますが、平均滞在人口 (4月～6月平均) は54,546人で、前年度とほぼ同数です。</p> <p>(原因) 県外からの来訪者は増えたものの、市外へ移動した市民も増えたため、平均滞在人口は横ばいになったと推測されますが、依然として新型コロナウイルス感染症の影響があると考えられます。</p>						目 標 達 成 度
		---	---				

指標②	休日14時に本市に滞在していた人数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【観光交流課】	人	58,598	58,517	57,918	60,400	
評価	<p>(状況) 国の地域経済分析システム (RESAS) において、県外からの来訪者 (4月～6月の累計人数) は、上位順に東京都1,070人 (R3:683人⇒387人増)、宮城県874人 (R3:634人⇒240人増)、埼玉県712人 (R3:542人⇒170人増)、神奈川県673人 (R3:452人⇒221人増)、栃木県665人 (R3:586人⇒79人増) と増加していますが、平均滞在人口 (4月～6月平均) は57,918人で前年度と比較し599人減少しています。</p> <p>(原因) 県外からの来訪者は増えたものの、市外へ移動した市民も増えたため、平均滞在人口は横ばいになったと推測されます。市民交流センター等の開館により来訪者が増加した一方、依然として新型コロナウイルス感染症の影響があると考えられます。</p>						目 標 達 成 度
		---	---				

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 観光誘客の推進
基本事項 02 都市間交流・国際交流の推進
基本事項 03 空港利活用の促進
基本事項 04 観光施設の適切な維持管理

基本事項01 観光誘客の推進

指標①	観光庁策定「観光入込客統計に関する共通基準」に係る観光入込客数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	人	1,235,234	962,149	972,987	1,500,000	---
評価	<p>(状況) 観光庁策定「観光入込客統計に関する共通基準」に係る観光入込客数は972,987人で、前年度と比較すると10,838人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると262,247人減少しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策が進んだことにより、観光需要が一部回復したと考えられますが、松明あかしなどの大規模イベントが縮小開催となるなど、依然として新型コロナウイルス感染症の影響があると考えられます。</p>						目標達成度
		---					

基本事項02 都市間交流・国際交流の推進

指標①	都市間交流補助事業の活用団体数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	団体	3	1	1	8	---
評価	<p>(状況) 都市間交流補助事業の活用団体数は1団体で、前年度と同数であり、総合計画基準値 (H28) と比較すると2団体減少しました。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により市民レベルでの交流事業が実施困難な状況となっているためです。</p>						目標達成度
		---					

基本事項02 都市間交流・国際交流の推進

指標②	国際交流に関心がある市民の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	%	42.2	-	41.1	→	---
評価	<p>(状況) 国際交流に関心のある市民の割合は41.1%で、前回 (R2) 42.7%と比較すると1.6ポイント減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.1ポイント減少しましたが、市民アンケートにより取得した指標であり、統計誤差の範囲であるため、横ばいです。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、福島空港における国際線の運行がコロナ禍前まで回復していないなど、国際交流の機運が高まっていないことが要因と考えられます。</p>						目標達成度
		---					

基本事項03 空港利活用の促進

指標①	福島空港の利用者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	人	247,706	97,250	180,919	→	---
評価	<p>(状況) 福島空港の利用者数は180,919人で、前年度と比較すると83,669人と大幅に増加しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると66,787人減少しています。</p> <p>搭乗率で見ると、札幌便が38.5%から60.0%、大阪便が46.1%から59.6%と増加傾向にあり、チャーター便の本数も、国内線が38便から98便、国際線が0便から7便に増加しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策が進み、前年度と比較して利用者は増加傾向にありますが、国際線の運休や国内定期路線の減便等により、コロナ禍前までは回復していません。</p>						目標達成度
		---					

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 観光誘客の推進
基本事項 02 都市間交流・国際交流の推進
基本事項 03 空港利活用の促進
基本事項 04 観光施設の適切な維持管理

基本事項03 空港利活用の促進

指標②	本市事業を活用した福島空港利用者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	人	493	34	94	700	
評価	<p>(状況) 本市事業を活用した福島空港利用者数は94人で、前年度と比較すると60人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると399人減少しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、国際線の運休や国内定期路線の減便が続いていることが要因と考えられます。</p>						目標達成度
		---					

基本事項04 観光施設の適切な維持管理

指標①	観光施設の指定管理者制度導入施設利用者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	人	84,610	128,313	139,810	95,000	
評価	<p>(状況) 観光施設の指定管理者制度導入施設利用者数は139,810人で、前年度と比較すると11,497人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると55,200人増加しています。なお、観光施設の指定管理者導入件数は4施設です。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策が進んだことにより、観光需要が一部回復したことによるものと推測されますが、依然として新型コロナウイルス感染症の影響があると考えられます。</p> <p>※2017 (H29) 年度から指定管理者制度導入施設が増加したため、基準値、目標値等との単純比較はできません。</p>						目標達成度
		---					